

# 国語科学習指導案

活動場所 北校舎2階 2年4組教室

生徒数 2年4組 男子19名 計32名  
女子13名

指導者 教諭 富田好昭

## 1 単元名

「文学を楽しむ」（「ジーンズ」高橋順子、「走れメロス」太宰治、文法の窓2）

## 2 単元について

本単元は、生徒にとって身近な存在であるジーンズを取り扱った現代詩「ジーンズ」と、主人公メロスが他者との関わりの中で様々な困難を乗り越え、己の弱い心に打ち克って問題を解決していく小説「走れメロス」の2教材と文法学習「文法の窓2」から成る。

「ジーンズ」は、失恋というつらい状況にありながらも感傷に浸るのではなく、これからの人生に向かって新たにスタートを切ろうとしている作者の思いが、象徴的に描かれている。思春期の中学生にとって、挫折や悩みはつきものである。特に、人間関係での悩みは深刻であるが、その悩みから立ち直り、今後の生き方を前向きに考えようとするこの詩は、生徒には共感しやすい作品である。

「走れメロス」は、メロスや王ディオニスなどの登場人物の言動を通して、人間としての在り方や生き方、人間にとって大切なものなどについて学習者一人一人が自らの意見をもつのに適した教材である。また、この作品は近代文学における不朽の名作であり、その優れた情景や心情の描写に触れながら、表現を味わうことにも適した教材である。

本学級の生徒たちは積極的に学習活動に参加し、自分の思いや考えを述べたり、疑問に思うことについて自ら進んで質問したりすることができる。しかしながら、その発言は、友達の発言に応じてさらに考えを深めるまでのものには至っていない。そのために、なかなか深まりのある話し合い活動まで至らないでいる。一方、毎朝25分間、朝読書に取り組むことで「読書」が好きであると答える生徒が学級の9割を占めるようになってきており、特に文学的教材においては、意欲をもって取り組んでくれることが予想される。

生徒たちは、これまで第1学年「竜」、「空中ブランコ乗りのキキ」、「トロッコ」などの文学的文章の教材による学習を通して、情景や心情の描写をとらえ、作品の主題を把握する学習を経験している。また、人間の生き方や社会の在り方について考えることも、第2学年「焼け跡」の学習を通して経験している。これらの学習経験を生かして、主題の追究を行うことはもちろんのこと、人間としての生き方や社会の在り方を考える学習から自分なりのものの見方や考え方、人間の生き方、社会に対する意見などをもたせていきたい。

そこで、本単元の学習においては、教材の内容を伝達するだけでなく、生徒一人一人の興味・関心を生かした学習活動を計画し、生徒自身の問題意識を生かした学習課題を設定す

ることで、生徒の主体的な学習を展開させたい。さらに、読みの交流を積極的に学習の中に生かしたり、課題設定から課題の追究・解決の仕方を分からせたり、習得した学習内容を自覚させたりする学習を通して、文学教材を学習することの喜びを味わう学習に取り組みさせるなど、生徒一人一人の思考力を高め、読みの深化を図っていききたい。

以上のようなねらいを基に、優れた表現を読み味わいながら人間の生き方について考える単元を設定した。

### 3 単元の学習目標

- 教材の学習を通して、人間の生き方や社会について考え、自分なりの意見をもつことができる。
- 表現に即して情景をとらえ、心情を読み取り、作品の主題をとらえることができる。
- 表現の仕方や文章の特徴をとらえ、読み味わうことができる。
- 自分の意見を積極的に発表することで話し合いを活性化させ、自分なりの考えを深めていこうとする。
- 読書に親しみ、読書生活に積極的に取り組もうとする。

### 4 単元の評価規準

学習活動における 具体的な評価規準	想定される生徒の学習状況と手だて	
	A	C
ア 国語への関心・意欲・態度		
① 表現に注意しながら、小説を読み、人間、社会などについて関心をもち、進んで読書をしようとする。	A 作品を読んで人物像をつかみ、人間の生き方や社会の在り方について自ら進んで考えようとし、他の文学作品を読もうとしている。	C 情景や行動、会話が表現されている部分を的確にとらえ、人物の行動の理由について考えさせる。
② 教材の読みを通して得た自分の考えを進んで他と交流し、自己の読みを広げようとしている。	A 自分の考えを積極的に表現し、友達のと比較し、作品を読もうとしている。	C 友達の発表を参考にして考えをまとめさせる。
イ 話す・聞く能力		
① 表現を基に自分の意見を組み立てたり、多くの意見を聞いたりして自分の意見を広げたり、深めたりすることができる。	A 作品の読みを通して、多様な読みや考えがあることを理解し、その違いを受け入れることができる。	C 自分の考えを深めたり、広げたりするために友達の意見をしっかりと聞かせ、共通点や相違点を明確にさせる。
ウ 書く能力		
① あらすじや展開をおさえ、場面ごとの出来事、登場人物の様子、気持ちなどをとらえ、適切にまとめることができる。	A キーワードをとらえ場面の様子をまとめたり、根拠を明らかにし、自分の考えを分かりやすく表現したりすることができる。	C 大事な表現や単語を指摘し、その語句を用いて表現させたり、適語を補充させたりしながら考えをまとめさせる。
エ 読む能力		
① 表現に即して情景や心情を的確に読み取ることで、主題をとらえ、人間の生き方や社会の在り方について考えることができる。	A 表現に即して人物の行動や心情を理解し、作品の主題をとらえ、自分なりの見方・考え方を広げるとともに、人間の生き方や社会に対する意見をもつことができる。	C 手がかりになる表現を示したり、友達と意見の交流をさせたりして、一つの事象についても様々な考え方や生き方があることに気付かせる。
オ 言語についての知識・理解・技能		
① 詩や小説の音読を通して、読むことの楽しさを味わうことができる。	A 作者の思いや考えをイメージしながら音読をすることで、表現の美しさや作品のおもしろさを味わうことができる。	C 表現の特徴をとらえさせ、範読を復唱させるなどして、表現の工夫を

	生かした音読に親しませる。
② 文脈の中で語句の意味をとらえたり、豊かな表現を味わったりすることができる。	A 脚注や辞書を活用したり、他の資料を活用したりして作品の内容を正確、かつ豊かに味わうことができる。 C 脚注や辞書を活用させ、事象や行為の表す言葉の意味を確認させる。

## 5 単元の学習及び評価計画

時間	学習の流れ	評価項目	評価方法
1	○ 単元を概観し、学習の見通しをもつ。 ○ 「ジーンズ」を読んで、感想や疑問の交流を行う。 ○ 表現に着目し、その意図を考え、交流する。	アー①, ② エー① オー①	観察 ノート 自己評価
2	○ 「走れメロス」全文を通読し、感想や意見を書く。 ○ 新出漢字や語句の学習をする。	アー① オー②	ノート ワークシート
3	○ 粗筋を確認し、場面分けを行う。 ○ 学習課題について話し合い、場面ごとに学習課題を設定する。	アー② ウー①	観察 ワークシート 自己評価
4	○ 場面1・2を読んで、メロスやディオニスの人物像をとらえる。	ウー① エー①	観察、ノート 自己評価
5	○ 場面2・3を読んで、約束の内容をとらえる。 ○ 結婚式前後のメロスの心情を把握する。	アー① エー①	観察、ノート 自己評価
6 (本時)	○ 場面4を読んで、メロスに立ちほだかる困難を考える。 ○ メロスが走ることの意義について考える。	アー① エー①	観察、ノート 自己評価
7	○ 場面5を読んで、メロスの復活について考える。 ○ フィロストラトスの誘惑について考える。	アー① エー①	観察、ノート 自己評価
8	○ 場面6を読んで、登場人物の心情をとらえる。 ○ 作品の主題について考える。	アー① エー①	観察、ノート ワークシート、自己評価
9	○ メロスの人間像についてとらえ直し、人間としての在り方、生き方について自分なりの意見をもつ。 ○ 学級内で、意見の交流を行う。	アー①, ② イー① エー①	観察、ノート ワークシート 自己評価
10	○ 注文の多い料理店を読み、感想を書く。 ○ 「走れメロス」で学習したことを生かして個別にテーマ設定し、感想を書く。	アー② ウー① オー①	観察 感想文

## 6 本時の実際 (6/10)

(1) 題材名 「走れメロス」

(2) 学習目標

場面4を読んで、メロスにおそいかかる様々な困難を明らかにし、「なぜメロスは走ることをやめたのか」ということについて次のように考えることができる。

友の命がかかった大切な約束だったにもかかわらず、身体の疲れから走れなくなったメロスは、自分の弱さと戦いながら、最後は「いや、それもわたしの、独りよがりか？」と、友と信じ合う心までも失ってしまったから。

### (3) 授業設計の視点

#### ア 目標や課題を明確にとらえ、共に追究する意欲を高める導入の工夫

本教材の導入において、教材に対する初発の感想や疑問などを自由に書く学習に取り組ませる。そこで出された感想や疑問点などを、人物や場面、内容などに分類してまとめたものを生徒に提示し、意見を交流し合う中から学習課題を設定することで、学習に対する意欲を喚起する。その上で、設定された場面ごとの学習課題を一覧表として示すことによって、学習の目標や課題を明確にとらえ、学習への見通しをもつことができ、学習への意欲を持続することができると思う。

#### イ 生徒一人一人の考えや思いを互いに伝え、深め合う場の設定と指導の工夫

本教材は、これまで学習してきたどの教材よりも文量の多い長編小説である。したがって、話の大まかな内容を提示することは、各場面の関連性や人物の変容をとらえる上で大切なことである。そこで、学習課題一覧表の中に、教材の導入段階でまとめた各場面の粗筋を掲載し、生徒が内容を想起しやすいように工夫し、話し合いや学習活動を活性化させていく。

また、グループでの話し合いにおいて、つねに中心課題のみを取り扱うのではなく、学習の進捗状況を把握させ、雰囲気盛り上げるために、中心課題に至るための段階的な課題を学習活動に取り入れたり、話し合いを活性化させるために話題とすべき表現を提示したりする。

さらに、課題解決を行う学習場面においては、発問に対する生徒の反応に対してどのように指導を重ねていくかが重要なポイントである。そこで、発問に対する生徒の反応を予測し、生徒の反応を生かした学習が、展開されるようにする。

本単元の学習においては、時間効率をあげるため、また、文学教材の多様な読みをすぐに味わえるようにするため、座席の配置にも意見を交流しやすいような工夫を凝らしてみたい。

#### ウ 学習を振り返り、自己の変容をとらえることができる評価の工夫

学習を通して、学習結果の定着が図られるだけでなく、学習を通して得た読みの力が、その後の学習や読書生活に結びつくようにするため、一単位時間で自分がどのように変容したのかということが振り返られる場を設定することとする。前時の学習を想起させる際にも、前時の感想に教師側のアドバイスを加えながら振り返らせていく。また、自分自身の力で自己を振り返ることで、学習の達成感や成就感をもち、くんでいくことができると思う。

(4) 授業の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点と評価（◆は評価項目）
導 入	5分	1 前時の学習を想起し、 学習課題を確認する。	○ ノートを参考資料として。 視点ア 学習の流れ表を提示し、本時の学習目標や 学習課題、進め方を明確にする。
展 開	3分	2 場面4の冒頭部分から、 メロスが走らなければならない理由について考える。	○ 場面4の冒頭部分を読んで、走ることの意義についてとらえさせる。 「殺されるため」、「友を救うため」、「王の奸佞邪知を打ち破るため」、「大切な約束のため」
	7分	3 メロスが走ることをやめた原因について自分なりの考えをまとめる。	○ 自分の考えを、ノートにまとめさせる。 「疲れたから」、「あきらめたから」、「走りたいけど疲れから体が動かないから」、「友を裏切り、自分が生きること考えたから」
	5分	4 メロスに襲いかかる困難についてまとめる。 ○ 川の氾濫 ○ 山賊の登場 ○ 身体の疲労	○ メロスに立ちほだかった困難とはどのようなものがあったかを発表させる。 視点イ ペアで、段階的な学習課題に対して、表現に即した読み取りを行う。
	17分	5 身体の疲労に対してメロスがどのように変化していったのかを考える。	○ メロスの心の中のつぶやきが語られている場面のCDを聞かせる。 ○ メロスの心の中のつぶやきに沿って、裏切りを肯定していく様子をとらえさせる。 視点イ 話し合いのポイントを絞って。 P152L3「いや、それもわたしの、独りよがりか？」という表現のもつ意味に注目させる。 少人数のグループを形成させて。 「3」の予想や学習してきたことを基に走ることをやめた理由についてまで考えさせる。
終 末	10分	6 どうして、メロスは走るのをやめたのかということについて自分の考えを見直す。	◆ 表現に即して読みを進めさせ、「川の氾濫」や「山賊の登場」といった物理的な障害ばかりでなく、身体や精神の疲労も大きな障害となったことが読み取れたか。 ◆ メロスの行動に肯定的で美化した考えだけではなくメロスの苦悩や葛藤する姿を表現に即してつかむことができたか。
	3分	7 本時の学習の自己評価を行い、学習のまとめをする。	視点ウ 本時の学習の成果について適切に自己評価をさせる。
		8 次時の学習について確認をする。	○ 次時は、メロスが再び走り始める場面の学習を行うことを伝える。